

授業改善プラン

教科（ 美術 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	知識を振り返ることのできるスライドを作成し、繰り返し見ることができるようにした。	定期考査において、自ら勉強に向かうことのできる生徒には効果的であったが、点数に差が開いてしまった。	学習指導要領における、身に付けさせたい知識・技能を大切に、伝える内容について精査する。		
	思考力・判断力 表現力	ICTを使った資料集め一定のタイミングでの相互鑑賞	こちらが丁寧に説明した表現方法は試そうとできるが、小学校の既習事項を活用してみようという姿勢が見られる生徒が少ない。	くりかえし試したり、挑戦したりすることができる場や雰囲気づくりを意識した導入や展開を計画していく。		
	主体的に学習に取り組む態度	ICTを使った振り返りに対して、気になるところなどから題材の設定を行った。	見通しをもって活動できる生徒とできない生徒の差が出てしまった。	より具体的に毎時間の到達点を明確にすること。板書や資料の掲示をわかりやすくすること。		
2 年 生	知識・技能	知識を振り返ることのできるスライドを作成し、繰り返し見ることができるようにした。	昨年度活用していたというアプリ内の機能などを使いこなせていない生徒がおり、作品制作に苦戦していた。	既習事項だと思われる内容についても、復習できる資料などを用意し、確実な定着を図る。		
	思考力・判断力 表現力	紙によるワークシートを活用して、段階的に思考を進められるようにした。	様々な発想を生み出すことができるが、どのような材料を活用して表現するか、見通しをもった活動が難しい。	材料などの用意の仕方を工夫する。板書・資料の掲示において、より見通しがもてるようなものを用意する。		
	主体的に学習に取り組む態度	ICTを使った振り返りに対して、気になるところなどから題材の設定を行った。	導入段階における興味や普段の生活と関連させて取り組めてはいるが、見通しをもって取り組むことが難しい。	板書・資料の掲示の工夫とともに、説明をより短く、活動時間を確保すると共に、主体性が見られる生徒の活動を効果的に共有できるようにする。		
3 年 生	知識・技能	知識を振り返ることのできるスライドを作成し、繰り返し見ることができるようにした。	定期考査において、自ら勉強に向かうことのできる生徒には効果的であったが、点数に差が開いてしまった。	学習指導要領における、身に付けさせたい知識・技能を大切に、伝える内容について精査する。		
	思考力・判断力 表現力	試すことのできる時間・材料などを多く用意し、様々な表現に挑戦した。	試す時間が長くなり、本番の作品に生かし切れていないものが増えてしまった。	計画した時間を安易に伸ばさない。参考作品などを工夫し完成イメージをもって活動ができるようにする。		

授業改善プラン

教科（ 美術 ）

	主体的に学習に取り組む態度	ICTを使ったふりかえりにおいて、生徒の興味・関心に合わせて題材設定や進行の変化を行った。	見通しをもって活動できる生徒とできない生徒の差や最後までやりきる気持ちに大きく差が出てしまった。	板書・資料の掲示において、より見通しがもてるようなものを用意する。		
--	---------------	---	--	-----------------------------------	--	--

カリキュラムマネジメントの視点から

小学校図画工作科で学んだ知識・技能を生かすことができるよう、小中間の情報共有をしっかりと行う。また、普段の生活や他教科と関連を意識した導入を大切にし、表現・鑑賞の活動に取り組む。